報告書 No. E25-031

試験成績報告書

ハイブリッド触媒 nanocat（TioTio PREMIUM）（LAFUADO）DK タイプ（TIOFINE-10DK）加工のトコジラミに対する忌避効果

2025 年 8 月 18 日

[redacted]チーム

[redacted]田 [redacted]史

[redacted]

ハイブリッド触媒 nanocat（TioTio PREMIUM）（LAFUADO）DK タイプ（TIOFINE-10DK）加工のトコジラミに対する忌避効果

委託元 ： 株式会社サンワード商会／株式会社ラーフエイド
試験機関 ： [redacted] チーム
〒6[redacted] 兵庫県[redacted]
TEL:[redacted] FAX:[redacted]
試験番号 ： E25-031
試験担当 ： [redacted]藤 [redacted]義
試験期間 ： 2025 年 7 月 22 日～2025 年 7 月 23 日

I. 試験目的（依頼事項）

ハイブリッド触媒 nanocat（TioTio PREMIUM）（LAFUADO） DK タイプ（TIOFINE-10DK）加工のトコジラミに対する忌避効果を調査する。

II. 材料および方法

1. 供試検体

委託元より提供されたポリエステル 100%スムース生地の未加工および加工された布を供試検体（図 1）とした。

図 1. 供試検体

2. 供試虫

トコジラミ *Cimex lectularius* 成虫
※[redacted]累代飼育系統

3. 試験方法

未加工および加工布を縦 15 cm、幅 7.5 cm に裁断し、板の上に並べて設置した（図 2）。側面にフルオンを塗布した 200B ポリカップに供試虫を 20 頭とり、前述の布

の上にひっくり返してのせ、供試虫を落として試験開始とした（図 3）。試験中は室温約 25 ℃ 一定条件を維持し、試験開始から 6 時間および 24 時間後に各布上の定着数を計数した。試験は 2 反復実施し、以下の式により忌避率（%）を算出した。

忌避率（%）=（C - T） / （C + T） × 100
C：未加工布上の平均定着数
T：加工布上の平均定着数

図 2. 板に並べた布。左：未加工布、右：加工布

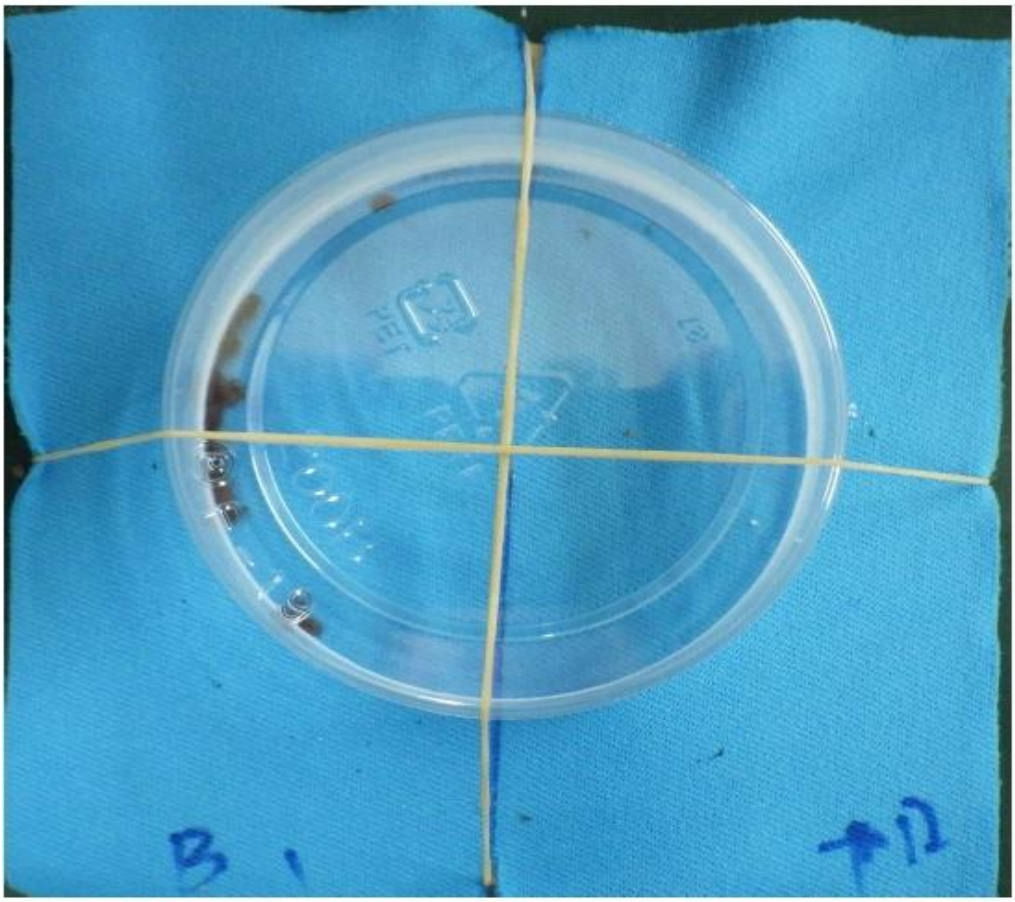

図 3. 試験状況

III. 結果

ハイブリッド触媒 nanocat（TioTio PREMIUM）（LAFUADO） DK タイプ（TIOFINE-10DK）加工のトコジラミに対する忌避効果を表 1 に示す。試験開始から 6 時間後および 24 時間後における加工布のトコジラミ成虫に対する忌避率はそれぞれ、95.0%および 80.0%であった。

表1. ハイブリッド触媒 nanocat （TioTio PREMIUM） （LAFUADO）
DKタイプ（TIOFINE-10DK）加工布のトコジラミに対する忌避効果

試験区	反復	供試虫数	布	経過時間毎の定着数		平均定着数
				6 hr	24 hr	
加工布	1	20	未加工	20	20	20.0
			加工	0	0	0.0
	2	20	未加工	19	16	17.5
			加工	1	4	2.5
	平均	20.0	未加工	19.5	18.0	18.8
			加工	0.5	2.0	1.3
	忌避率(%)			95.0	80.0	87.5

試験日： 2025年7月22日～7月23日

試験方法：未加工布および加工布を板に並べて設置し、供試虫20頭を放って所定の時間に各布に対する定着数を記録

忌避率(%) = (C - T)/(C＋T)×100

C = 未加工布上の平均定着数、T = 加工布上の平均定着数

IV. 注意事項

本報告書に記載の内容は依頼元に帰属します。本報告書記載事項の解釈に関するご相談は承りますが、公開や営業活動のための利用、並びにその結果としての第三者からのお問い合わせ等への対応については依頼元の責任において行ってください（試験機関名（当社名）の公表はご遠慮ください）。

以上